

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0903016

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ○事業期間 平成14年度～平成27年度 ○総事業費 382,485千円(6,483,000千円) ○事業内容 雄武漁港の外郭・水域・係留・輸送施設、用地埋立及び漁港衛生管理施設の整備
基本施策	3 水産業の振興	事業優先度	A	
単位施策	2 経営基盤の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	雄武地区特定漁港漁場整備事業(漁港整備)	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	北海道	関係課	#N/A	
事業指標	工事進捗率		#N/A	
事業目標	100%	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	雄武漁港の外郭・水域・係留・輸送施設、用地埋立及び漁港衛生管理施設の整備 ○総事業費 132,571千円 ・起債 100,000千円 ・漁組負担金 26,513千円 ・一般財源 6,058千円 道の総事業費 2,127,830千円	○雄武漁港 ・東防波堤新設 L=28m ・東護岸新設 L=95m ・-2.0M物揚場新設 一式 総事業費 596,000千円	○雄武漁港 ・西護岸改良 L=134.9m ・-3.5M泊地 A=2,190 ・-3.0M泊地 A=3,410 ・-2.0M泊地 A=1,000 ・-3.0M岸壁新設 L=35m ・-2.0M物揚場新設 一式 ・用地 A=2,930 総事業費 336,830千円	○雄武漁港 ・西護岸改良 L=35.2m ・-3.5M泊地 A=2,320㎡ ・-3.0M岸壁新設 L=64m ・-2.0M物揚場新設 L=101.7m ・道路 一式 ・用地 A=11,300㎡ 総事業費 268,000千円	○雄武漁港 ①・西護岸改良 L=17.3m ・-3.5M泊地新設 A=2,150㎡ ・-3.5M岸壁新設 L=120m ・-3.0M岸壁新設 L=67m ・用地 A=2,830㎡ 事業費 239,000千円 ②・-3.5M岸壁新設 L=104m ・用地護岸 L=21m 事業費 300,000千円 総事業費 539,000千円	○雄武漁港 ・-3.5M泊地新設 A=9,900㎡ ・-3.5M岸壁新設 L=104m/設計 ・用地 1,020㎡ ・用地護岸(新設) 21m ・清浄海水供給施設 設計 総事業費 388,000千円	
	事業費(千円)	132,571	22,000	18,500	32,300	27,704	32,067
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	100,000	15,800	13,300	23,200	22,100	25,600
	その他	26,513	4,400	3,700	6,460	5,540	6,413
一般財源	6,058	1,800	1,500	2,640	64	54	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	114,537	11,959	16,860	23,451	26,652	35,615
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	86,300	8,600	12,100	18,700	21,300	25,600
その他	22,906	2,391	3,372	4,690	5,330	7,123	
一般財源	5,331	968	1,388	61	22	2,892	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) ・起債 ・漁組負担金	【評価・実績】	(実施内容等) ・起債 8,600千円 ・漁組負担金 2,391千円 事業量減による実績減 総事業費 265,170千円	(実施内容等) ・起債 12,100千円 ・漁組負担金 3,372千円 事業量減による実績減 総事業費 336,830千円	(実施内容等) ・起債 18,700千円 ・漁組負担金 4,690千円 総事業費 253,549千円	(実施内容等) ・起債 21,300千円 ・漁組負担金 5,330千円 総事業費 227,403千円	(実施内容等) ・起債 25,600千円 ・漁組負担金 7,123千円 総事業費 391,631千円
			※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	工事進捗率 100%	工事進捗率 100%	工事進捗率 100%	工事進捗率 100%	工事進捗率 100%
		年度達成率	54%	91%	73%	96%	111%
		全体達成率	9%	22%	39%	60%	86%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	雄武地区特定漁港漁場整備事業(漁港整備)	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	水産係長	中村文隆

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	工事進捗率
【抱える課題やニーズは】	漁港の早期完成による漁港機能の高度化及び漁業活動の安全性・生産性の向上	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	施設整備により漁港機能が高まり、漁業活動の安全性の向上が図られ、生産性の高い環境を創造する。	① 工事進捗率	目標年度 平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	衛生管理の強化など漁港機能が高まり、新鮮で安心・安全な水産物の生産と、漁業活動の安全性・生産性の向上を図る。		目標値 100%
			実績値 100%
			達成度 100.0%
		②	目標年度 年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	漁港整備に係る地元負担金	北海道が実施する雄武漁港整備事業に対する地元負担金の支出	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	雄武漁港は本町の流通・生産拠点として重要な役割を担っており、漁港機能の高度化、衛生管理の強化、生産労働の効率化及び安全な漁業活動の確立が必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	衛生管理型漁港及び関連施設の整備促進により、漁港機能の高度化が進んでいる。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	地元負担割合が定められており、コスト削減ができない。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

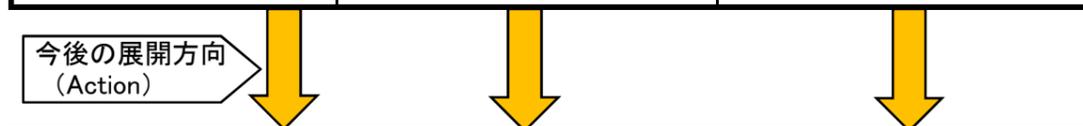
公平	判断の理由	水産基盤整備事業に係る地元負担金については、条例に基づき受益者分担金(負担額の20%)を徴収している。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
施設整備により、漁港機能が高まり、漁業の安全性、生産性の向上が進んでいる。		



継続/現状維持		
雄武漁港は流通漁港の早期完成に向けて継続実施が必要である。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止